

総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会  
省エネルギー小委員会 エアコンディショナー及び電気温水機器判断基準  
ワーキンググループ（第3回）  
議事要旨

1. 日時：2021年2月15日（月）14：00～16：00

2. 場所：オンライン

3. 出席者

委員：飛原座長、浅野委員、小西委員、齋藤委員、谷委員、中村委員、前委員、  
三浦委員、村上委員

オブザーバー：一般社団法人日本冷凍空調工業会 古内オブザーバー、吉田オブザーバー、  
中川オブザーバー※、神野オブザーバー  
一般社団法人日本電機工業会 河合オブザーバー

※中川オブザーバーは、一般社団法人日本冷凍空調工業会及び一般社団法人日本電機  
工業会の両方の立場として参加。

事務局：経済産業省 江澤省エネルギー課長、内山省エネルギー課課長補佐、  
神取省エネルギー課課長補佐、赤沼省エネルギー課係長、  
村上情報産業課課長補佐

4. 議事：

- (1) 電気温水機器の目標年度、区分、技術アンケート結果、目標基準値、表示事項等について（案）
- (2) 電気温水機器の取りまとめについて（案）
- (3) エアコンディショナーの畳数目安、測定方法、新たな性能評価方法の検討について

5. 議事要旨：

○議事（1）電気温水機器の目標年度、区分、技術アンケート結果、目標基準値、表示  
事項等について（案）

電気温水機器の目標年度、区分、目標基準値、表示事項等について、了承された。

委員の主な意見は以下のとおり。

- ヒートポンプ給湯機の効率向上だけでなく、高効率給湯器の全体の普及に向けた後押しが重要ではないか。

- 機器の更新需要では従来型給湯器のシェアが高い中で、給湯器全体の中で高効率な機器が選択されるようにすべきではないか。

○議事（２）電気温水機器の取りまとめについて（案）

本日の検討結果を事務局にて反映させた上で、座長に一任いただくことで了承された。

委員の主な意見は以下のとおり。

- 建築物に組み込んで販売する者も含めて、販売事業者による取組みの実態を把握することが重要。

○議事（３）エアコンディショナーの畳数目安、測定方法、新たな性能評価方法の検討について

委員の主な意見は以下のとおり。

- 空調負荷への影響が大きな地域差も勘案いただきたい。畳数目安の表示については、紙での表示には限界がある。このため、例えば、QRコードやアプリによる表示等、現状とは異なる枠組みを検討してはどうか。
- 低負荷時の性能を把握できるようにし、メーカーのモチベーションとなるようにすることが重要。

以上